

福山市保育施設ICT化推進事業

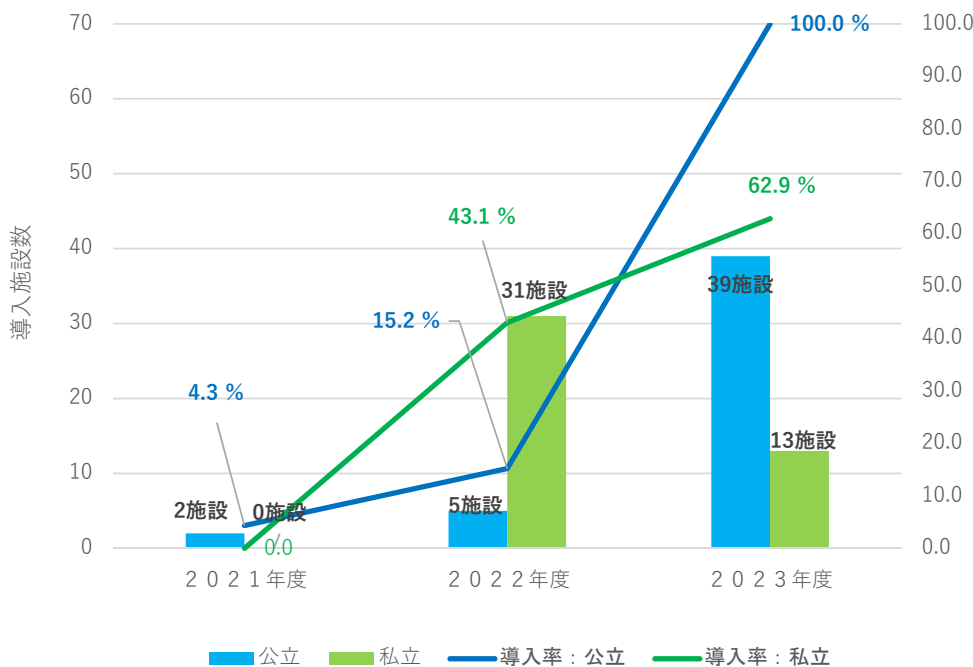
資料 7

○事業目的

- ・保育所等における業務のICT化を推進することにより、保育者の負担軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備する。

○ICT化の状況と今後の展開

ICT化事業の実施状況



【今後の展開】

公立

2023年度 全保育所・認定こども園に導入完了

2024年度 幼稚園7施設・キャッシュレス機能4施設 導入予定

私立

2024年度 3施設導入予定(導入率 66.2%)

キャッシュレス機能の導入も対象に

→保育士の負担軽減につながり導入を加速させたい

★公立と比較し、私立の導入率が低い

★ICT化事業は保育事故を受けて加速したこともあり、公立と同じ水準で展開したい

★協議会の実施により、国の補助金の負担割合の嵩上げ

現在 …国 1/2、市区町村 1/4、事業者 1/4

協議会実施…国 2/3、市区町村 1/12、事業者 1/4

※2024年度から協議会の設置により補助率の嵩上げが行われる

※協議会は自治体・ICT関連事業者・保育事業者などで構成予定

○事業の経過と導入状況

・福山市保育施設ICT化推進事業（私立）：2016年度、2021年度～2024年度に事業実施
2022年度～2024年度については、初期導入のみ対象（システム更新は対象外）
初期導入のみが補助対象だが、2016年度実施施設も2021年度以降補助対象

・補助対象の機能要件

- ①保育に係る計画・記録に関する機能
- ②園児の登園及び降園の管理に関する機能
- ③保護者との連絡に関する機能
- ④キャッシュレス決済に関する機能（2024年度から補助要件に）

・ICT化導入実績（公私立）

		2021年度 (事業未実施)	2022年度	2023年度
私立	実施施設（施設）	0	31	13
	導入率（％）	0.0	43.1	62.9
公立	実施施設（施設）	2	5	39
	導入率（％）	4.3	15.2	100.0

・ICT化推進事業（私立）内訳

	2021年度 (事業未実施)	2022年度	2023年度	2024年度 (見込)
保育所数	27	26	22	20
実施施設		12	0	2
認定こども園数	45	46	48	51
実施施設		19	13	1

○導入効果調査(2023年度導入:13施設)

1. 導入したシステム

①保育に関する計画・記録に関する機能	②園児の登園及び降園の管理に関する機能	③保護者との連絡に関する機能	端末購入等の有無
1 1	1 1	1 3	1 2

2. 導入効果(時間面)

導入による業務時間の削減あり	残業時間の縮減	職員同士の話し合いの増加	子どもに直接対応する時間の増加	保護者に直接対応する時間の増加	研修に参加する時間の増加
1 1	6	1 1	1 2	7	5

3. 導入効果(費用面)

導入による費用面の削減あり	残業代の削減	園だより等の印刷コストの削減	給与・賞与	システムのランニングコスト
1 2	8	1 2	9	3

4. その他職場環境の改善

- ・出欠状況がリアルタイムで分かるようになり、朝の電話番が減少した。
- ・アンケートの集計や事務的な計算、集計等の作業が軽減された。
- ・児童の安否確認の重要性が保護者にも周知され、高い精度で確認できるようになった。
- ・メール、アプリアンケートの活用により保護者との情報共有を密に行えるようになった。
- ・紙面ではなくアプリでのやり取りやアンケートができるようになり、保護者負担も少なくなった。
- ・ICT機能活用により、必要な情報を全職員で共有できる。クラスを越えての情報共有は、保育の質の向上につながっている。
- ・システム上の保育日誌に当日の保育内容を写した写真が掲載でき、保育の振り返りが視覚的にできるようになった。
- ・保護者への情報発信の充実した。
- ・早朝保育、延長保育等の時差出勤の職員間の申し送りをシステム内で行い、時短につながった。

5. 導入後の課題

- ・仕事の効率化について、職員のパソコン操作に個人差があり、効率的でない場合もある。
- ・機能が増えると、新たな作業が増え、負担感を感じる。
- ・当日の園児の様子等の情報発信を、集団保育の様子として一律に発信することに対し、わが子を主語として個別の家庭連絡を求められる傾向もあり、保護者の理解に時間が必要である。
- ・便利である反面、個人情報取り扱いを気をつけなければいけない。
- ・画像などのデータ量が増え、データの管理に苦慮。
- ・システム・アプリ内にはさらに充実した機能があるが、ランニングコストがかかるため費用面での継続的な補助を必要としている。
- ・機能の全てを一斉に運用することが困難。マニュアル作成等の運用の整理に苦慮。
- ・保育者が使用に慣れていないことから、保護者への説明が困難なケースがある。